

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成26年10月16日(2014.10.16)

【公開番号】特開2013-50914(P2013-50914A)
【公開日】平成25年3月14日(2013.3.14)
【年通号数】公開・登録公報2013-013
【出願番号】特願2011-189556(P2011-189556)
【国際特許分類】

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 12/00 5 3 5 Z

G 0 6 F 12/00 5 2 0 H

【手続補正書】
【提出日】平成26年8月29日(2014.8.29)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0010
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0010】

本発明は、文書管理サーバに管理されているファイルにアクセスするための情報処理装置であって、前記文書管理サーバに管理されている処理対象のファイルのファイル属性情報を取得するファイル属性情報取得手段と、前記ファイル属性情報を参照して、前記処理対象のファイルに関連付けられたアプリケーションが存在するか否かを判定するアプリケーション存在判定手段と、前記アプリケーション存在判定手段で前記処理対象のファイルに関連付けられたアプリケーションが存在すると判定された場合、前記処理対象のファイルの状態をチェックアウト状態にし、前記文書管理サーバから前記処理対象のファイルを取得する第1の取得手段と、前記アプリケーション存在判定手段で前記処理対象のファイルに関連付けられたアプリケーションが存在しないと判定された場合、前記処理対象のファイルの状態を変更せずに、前記文書管理サーバから前記処理対象のファイルを取得する第2の取得手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正2】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

文書管理サーバに管理されているファイルにアクセスするための情報処理装置であって、
前記文書管理サーバに管理されている処理対象のファイルのファイル属性情報を取得するファイル属性情報取得手段と、
前記ファイル属性情報を参照して、前記処理対象のファイルに関連付けられたアプリケーションが存在するか否かを判定するアプリケーション存在判定手段と、
前記アプリケーション存在判定手段で前記処理対象のファイルに関連付けられたアプリケーションが存在すると判定された場合、前記処理対象のファイルの状態をチェックアウト状態にし、前記文書管理サーバから前記処理対象のファイルを取得する第1の取得手段と、

前記アプリケーション存在判定手段で前記処理対象のファイルに関連付けられたアプリケーションが存在しないと判定された場合、前記処理対象のファイルの状態を変更せずに、前記文書管理サーバから前記処理対象のファイルを取得する第2の取得手段と、を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記チェックアウト状態とは、前記処理対象のファイルに対して排他制御を実行した状態であることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記アプリケーション存在判定手段は、前記ファイル属性情報を参照して、前記処理対象のファイルを開くコマンドが存在するか否かを判定し、当該コマンドが存在する場合は前記処理対象のファイルに関連付けられたアプリケーションが存在すると判定し、当該コマンドが存在しない場合は前記処理対象のファイルに関連付けられたアプリケーションが存在しないと判定することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記アプリケーション存在判定手段で、前記処理対象のファイルを開くコマンドが存在しないと判定した場合、さらに、前記処理対象のファイルを開く処理が禁止されているかどうか判定し、禁止されていると判定した場合は前記処理対象のファイルを開く処理が実行できない旨をユーザに通知し、禁止されていないと判定した場合は前記処理対象のファイルを開くアプリケーションをユーザに選択させることを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記ファイル属性情報を参照して、前記処理対象のファイルがショートカットファイルであるか否かを判定するショートカットファイル判定手段と、

前記ショートカットファイル判定手段により前記処理対象のファイルがショートカットファイルであると判定された場合には、ショートカットファイルの参照先を取得する参照先取得手段と、

前記参照先取得手段で取得した参照先のファイルを前記処理対象のファイルとするファイル設定手段と

をさらに有することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項6】

文書管理サーバに管理されているファイルにアクセスするための情報処理装置によって実行される文書アクセス方法であって、

前記文書管理サーバに管理されている処理対象のファイルのファイル属性情報を取得するファイル属性情報取得ステップと、

前記ファイル属性情報を参照して、前記処理対象のファイルに関連付けられたアプリケーションが存在するか否かを判定するアプリケーション存在判定ステップと、

前記アプリケーション存在判定ステップで前記処理対象のファイルに関連付けられたアプリケーションが存在すると判定された場合、前記処理対象のファイルの状態をチェックアウト状態にし、前記文書管理サーバから前記処理対象のファイルを取得する第1の取得ステップと、

前記アプリケーション存在判定ステップで前記処理対象のファイルに関連付けられたアプリケーションが存在しないと判定された場合、前記処理対象のファイルの状態を変更せずに、前記文書管理サーバから前記処理対象のファイルを取得する第2の取得ステップと、

を有することを特徴とする文書アクセス方法。

【請求項7】

コンピュータを、請求項1から5のいずれか1項に記載の情報処理装置として機能させるためのプログラム。